

記念式典時登壇者服装基準について

はじめに、日本YEGはあくまでも日本商工会議所の中の下部組織（青年部）であり、独立した団体ではありません。それを強く認識する必要があります。我々の言動の影響力も強くなり、公人としてメディアやご来賓をお招きしての各種大会で国内外の外部団体とお会いする機会が随分増えましたが、今までその様な場所での細かなドレスコードについては明文化されておらず、個人のマナーと常識に一任してきました。

今回、記念式典での登壇者の「服装基準」を定めさせていただきますが、服装に関しては各業界や各個人の習わしやスタイルがあって、それを均一化することはできません。しかしながら、冒頭で述べたとおり、商工会議所青年部所属として公人でもあります。個性はもちろん大事ではありますが、華美な服装による個性を先に打ち出すよりも公人であることをより意識していただきたいと考えます。

下記の記載内容は、記念式典時登壇者服装基準となります。登壇時の参考にしてください。また、女性の方、一般参加者の方（YEGメンバー）への服装基準も記載させて頂きましたのでご確認ください。

●華美な服装とは

- ・ 蛍光色・白・光沢のあるもの、もしくはハッキリとした柄などで主賓（主役）より目立つもの
- ・ 露出の多いものは基本的には昼間の式典には不向き

●スーツ

- ・ 基本色は濃紺・チャコールグレー・黒等（基本的には無地もしくは無地に近いもの）どの色でも派手なストライプ、チェック、その他パターンは避け、ボタンの数は2つが推奨
- ・ 上着の両ポケットフラップは屋外では外に出し室内にいるときは中に入れるようにする

●シャツ

- ・ 白無地（織柄可）、淡色無地（織柄可）を推奨
- ・ 襟にボタンがついているボタンダウンは不可（ボタンダウンはスポーツ着なので、フォーマルではない）

※濃色・柄物はカジュアル・ビジネスのイメージが強く登壇者にはふさわしくない



ボタンダウンNG



ストライプNG



カラーシャツNG

●靴、ベルト、靴下

- ・ 基本は黒色、スーツ着用時は紐靴
- ・ ローファーやデッキシューズは、フォーマルな場面ではカジュアルすぎる
- ・ 先端がとがったものは適さない
- ・ 靴が黒の場合はベルトも黒に統一し、靴下も柄が入っていない黒系のビジネス系のものがベスト
- ・ ショートソックス・白色・華美なものはNG
- ・ 革靴とスラックスに近い色を推奨

※茶系の革靴は、カジュアルなイメージとビジネスで使うことが多く、式典にはふさわしくない



ストレートチップ



プレーントウ



ユーチップ

●ネクタイ

華美（蛍光色）な色柄・キャラクター柄等でないものを着用

※統一されたネクタイなどが最適・濃色無地（黒）は推奨しない

●サングラス

公式の場では着用を避けること

●小物

- ・ 時計はシンプルかつ黒革ベルトが推奨。派手ではないステンベルトも可
- ・ ゴールド、華美な装飾のもの、スポーツウォッチは避ける
- ・ スマートウォッチは可



式典にふさわしい時計



使用不可

●和装

和装での主催者代表の服装（登壇者）

【着物＋羽織】黒く染めた羽二重（はぶたえ・細い生糸を製織した滑らかな絹地）に染め抜き日向紋（そめぬきひなたもん）五つ紋をつける

【袴】仙台平（せんだいひら）の縞袴が基本。縞が太いほど若々しく、細いほど落ち着いた印象になる

【袴下帯（はかましたおび）】手持ちの角帯が良いですが、袴の土台となるので緩みにくく袴の色に馴染むシンプルな無地の帯を締める

【小物】半衿・羽織紐・扇子・足袋・雪駄の鼻緒は白が基本。羽織紐は房が大きめで華やかなものを選ぶ

和装での服装（登壇者）色紋付き

【着物＋羽織】紋が5つ入れれば最上格に。上品で顔映りの良い色を選ぶ。生地は羽二重や縮緬など

【袴】黒紋付と同様

【袴下帯】黒紋付と同様

【小物】半衿・扇子・足袋・雪駄の鼻緒は白が基本。羽織紐は白または白に近い色を選ぶ

参加者の服装（主催者・登壇者は対象外）

【着物】上品な色合いの無地や地紋入りのお召はコーディネートもしやすく重宝する。江戸小紋等にとするとより気軽な雰囲気

【羽織】着物に合う色を選びます。初心者は着物より濃い色が合わせやすい。着物より明るい色の羽織はより着物上級者の雰囲気。写真は霞のようなぼかし染めをあしらったお洒落な羽織でワンランク上の装いに

【角帯】改まった雰囲気を出すには織りの角帯。染めの角帯ならよりお洒落感を演出できる

【小物】羽織紐はフォーマル感を出すなら組紐を結ぶタイプ、カジュアルなお洒落感を出すなら飾り玉の付いたお洒落なものなどにしても良い。半衿は着物との調和で色を選び、履物は草履にする



和装での主催者代表服装
（登壇者）



和装での服装
（登壇者）



参加者の服装
（主催者・登壇者は対象外）

女性の場合

- ・ 既婚者の場合は留袖が「第一礼装」（最も格が高い）とされている（未婚者は中振袖可とする）
- ・ 訪問着などはそれよりも格の低い「準礼装」として扱われる

補足

- ・ 男性の場合は「黒紋付」とも呼ばれ「黒羽二重五つ紋付」が第一礼装として着用され、次いで「色紋付」が準礼装として扱われる
- ・ 登壇者が和装される時、また複数人和装される時は企画委員会に相談すること
- ・ 式典内黒子（表彰式など）での和装は「参加者の服装」基準で対応

●女性

- ・ 濃紺・チャコールグレー・黒など落ち着いたトーンのジャケットに、ワンピースやスカート・パンツとなるフォーマルスーツスタイルを推奨
- ・ ワンピースやスカートは、起立時に膝の出ない丈とする
- ・ インナーは白やベージュなど淡い色で、無地を基本とする
- ・ シフォンやレースの生地で裏地がないものの着用は避ける
- ・ 靴はつま先の出ないパンプスで黒を推奨(装飾物は可) 薄手の肌の色に近い色のストッキングを着用
- ・ ジャケットのボタンは必ず閉める
- ・ 来賓や会場に一礼する際に髪の毛が乱れないよう髪留め等を使用し、見ている側が不快にならないようにする
- ・ 頭にコサージュを付ける場合は華美な装飾に該当するため相応しくない
- ・ 胸のコサージュは華美なものではなければ可とする

●記念式典への一般参加者

- ・ 華美な服装での参加は控える
- ・ クールビズ期間はネクタイを着用しなくても良いが、ジャケットは着用する
- ・ 統一のポロシャツや法被などの着用は控える（大会PR時は可）
- ・ 各参加単会・日本YEG出向者統一ポロシャツを着用しての式典参加時は、ポロシャツの上にジャケットを着用して参加する
- ・ 単会法被や単会ブルゾンに着替えたい時は、来賓降壇後から着用可とする

●髪色・髪型（登壇者）

- ・ 来賓が参加する等、対外的要素が強い「式典」は一般的に格式や厳肅さが求められる場であるため、極端に明るい色や派手な色合いの髪色や、広く肯定的に受け入れられないとは言えない髪型は場の雰囲気と調和しないため避ける
- ・ 髪色の明るさは最大でも10トーンまでが望ましい

●その他

- ・ 会場運営関係者はポロシャツ可とする

最後に

記念式典主催者（登壇者）の代表者は会長となります。会長よりも華美な服装での登壇は参加される方から見ると不快に見えることもありますので、服装や身だしなみは特にご注意ください。主催者の代表でもある会長に関しては、上記の記念式典服装基準には一部対象外となります。あくまでも代表者としての服装を優先して記念式典に臨んでい頂ければと思います。（会長は主催者代表として白、黒を含むモノトーン、ダークカラーの使用が可）

また、記念式典時服装の優先事項は服装の乱れを無くして、主催者として登壇してもらうことにあります。記念式典は唯一対外的に商工会議所青年部をアピールできる場でもありますので、日本YEG企画委員会として最高の式典を開催地と一緒につくっていきたいと考えております。ご理解ご協力のほどよろしくお願いします。

(参考資料)

◆スーツの色が与える印象

	ダーク ネイビー	ブライト ネイビー	チャコール グレー	ライト グレー	ベージュ	ダーク ブラウン
与える 印象	知的 真面目 信頼できる	若々しい 活動的な	品格のある 洗練された	冷静な 慎重な クールな	柔軟な	落ち着き 誠実 余裕
式典	◎	○	◎	×	×	△
カラー	ブラック	ダークグリーン	シャドー ストライプ	ストライプ	ウィンド ペン	グレン チェック
与える 印象	高級感 ストイック	重厚な 穏やかさ	誠実な 論理的	力強さ 華やかさ 自身がある	カジュアル 感 親しみやすい	上品な 知性的
式典	○	△	○	△	×	△

式典などのセレモニーで使うスーツの場合、主賓【一名】以外の登壇者が同じスーツを着用できない場合は、ダークカラーで目立たない柄を基本として考えると、全体の見た目のバランスは統一される

◆色合いが濃色か淡色かで印象は変わってしまう。

※濃色：フォーマルなイメージ・淡色：カジュアルなイメージ

◆柄も強調されるストライプやウィンドペン（チェック柄）以外であればある程度 OK